

図書案内

後編

# 子どもたちに読んでもらいたい自然環境に関する本

子どもとの読書は大人にとっても癒しの時間。後編は子どもと一緒に大人の方にも読んでもらいたい本を紹介します。

幼児

## 『マルマくん、かえるになる』

片山令子 文、広瀬ひかり 訳  
 ブロンズ新社、2013年、32ページ、1,400円+税  
 上手いかず焦る心に効く絵本です。美しい色調の銅板面でカエルの成長過程を味わうと、ゆっくりとはすてきなこと！と思えます。上手く泳げないことに涙し、浮き輪を使い、お茶もするカエルたちに、子どもも目が釘付けです。



オススメ人  
 専門：哺乳類生態  
 黒江 美紗子

小学校低学年～

## 『森の動物たち1 かろうそのサーン』 『同2 うさぎのグレーファー』 『同3 もぐらのディガー』 『同4 きつねのファンク』

テサ・ポター作、ケン・リリー 絵、今泉吉晴 訳  
 文溪堂、1997～1999年、各24ページ、各1,400円+税  
 英国の里山の四季を、そこに暮らす動物4種の立場で描くシリーズ絵本。春はカワウソ、夏はウサギ、秋はモグラ、冬はキツネ。自然の豊かさと共に、天敵、洪水、輪禍など野生の厳しさをも躍動的に描きます。



オススメ人  
 専門：環境教育  
 陸 斉

小学校低学年～

## 『地球のかたちを哲学する』

ギヨーム・デュプラ 文・絵、博多かおる 訳  
 西村書店、2010年、64ページ、2,800円+税  
 今では、地球が丸い惑星だと誰もが知っています。でもそれはいつからなのでしょう？昔の人びとは、こんな想像をしていました。地球がへびの上ののっかっていたり、お皿の形をしていたり…。他にはどんな形があるのかな？



オススメ人  
 専門：自然地理  
 浜田 崇

小学校低学年～

## 『正しい暮らし方読本』

五味太郎 著  
 福音館書店、1993年、50ページ、1,500円+税  
 あなたの人生を左右するような、身近な33の暮らし方が楽しい図で説明されています。たとえば「正しい本の読み方」では「面白くない本をずっと読んでいてはいけません…」とあります。書いてあることはかなり正しいです。



オススメ人  
 専門：地形地質  
 富樫 均